

# **HDSTORM**

セットアップガイド

www.thomson-canopus.jp

F0951010082 October 2010

## \_\_\_\_ ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3)本製品は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご 了承ください。
- (5)ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益 を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6)本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を 含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デ コンパイル、ディスアッセンブリを禁じます。
- (7) EDIUS /エディウスおよびそのロゴは、トムソン・カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- (9) Intel、Pentium、Xeon、Core Duo は、アメリカ合衆国およびその他の国にお けるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- (10) QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される 商標です。QuickTime は、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- (11) Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader はアドビシステム社の登録商標です。
- (12) DOLBY Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリー ズの商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき 製造されています。
- (13) HDV はソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- (14) HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、 HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- (15) その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

## 🛄 表記について

- ■本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法 を優先するものとします。
- ■本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合 があります。
- ■本書は PC の基本的な操作を行なうことができる方を対象に書かれています。 特に記載の無い操作については、一般的な PC の操作と同様に行なってくだ さい。
- 本書では Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 7 operating system を Windows 7 (Ultimate、 Professional、Home Premium、Home Basic の総称)と表記します。

- ■本書では Microsoft<sup>®</sup> Windows Vista<sup>®</sup> operating system を Windows Vista (Ultimate、Business、Home Premium、Home Basic の総称)と表記します。
- ■本書では、Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> XP Professional operating system を Windows XP と表記します。

警告

#### 健康上の注意

ごくまれに、コンピューターのモニターに表示される強い光や刺激や点滅によっ て、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こ うした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもって いることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の 血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

### 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータ は、動画、静止画にかかわらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者 に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制 限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は 一切負いかねますのでご注意ください。

> HDSTORM セットアップガイド October 8, 2010 Copyright © 2010 Technicolor dba Grass Valley All rights reserved.

# 目次

|--|

### 1 はじめに

ご使用になる前に			• •		•	•	٠	٠	۰	٠	٠	٠	٠	٠	•	•	•	•	•	•	٠	٠	•	•	۰	٠	•	٠	٠	7	
----------	--	--	-----	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

### 2 ハードウェアセッティング

各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
ハードウェアの取り付け・・・・・	13
EDIUS をインストールする ・・・・・	18
EDIUS インストール後の確認 ・・・・・・	18
EDID Monitor について ·····	22

### 3 EDIUS の起動とプロジェクト作成

EDIUS を起動する ・・・・・・・・・・・・・・・・	23
プロジェクトを作成する・・・・・	24

### 4 編集環境の設定

デバイスプリセットを登録する・・・・・ 27

プレビューデバイスを設定する・・・・・・41

### 5 ハードウェア仕様

HDSTORM メインボード · · · · · · · · · 45 HDSTORM BAY (HQX-B10) (オプション) · 46

# 安全に関する注意事項

### ■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから 本文をお読みください。

🔨 警告 :人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。

■絵表示の意味

- 🚫 📢 :この記号はしてはいけないことを表しています。
  - :この記号はしなければならないことを表しています。
    - : この記号は気をつける必要があることを表しています。

### ■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説 明しています。

## 🕂 警告

### ●健康上のご注意

ごくまれに、コンピューターのモニターに表示される強い光の刺激や点 滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合 があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それ が起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ち の方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用され る前に必ず医師と相談してください。

●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでくだ さい。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。

▶●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合、必ずパソコン本体および周 辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態 で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま、製品を取り付けたり 取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器 に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソ コン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かずにパソ コン本体や周辺機器の筐体(電源ユニットなど)、機器の金属部分に触れ た場合には感電する恐れがあります。

### ●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各 コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地さ れた金属製のものに触れてください(体内の静電気を放電することにな ります)。

### 1 注意

●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めた すべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていな いことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコン の最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用 し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかか り、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。

消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧い ただくか、メーカーに直接お問い合わせいただいてお確かめください。

### ●他社製品と併用されるときの注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そ のためにシステムが本来の目的を達成することができないこともありま す。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご 確認ください。また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作 しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。

### ●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けてください。指示通りに取り 付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触し てショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊さ れる恐れがあります。

製品を取り扱うときは、手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意くだ さい。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面 は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取 り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。 動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手 を触れる際には、十分にご注意ください。

Section 1

# はじめに

# ご使用になる前に

2

### 動作環境

「注音	٠	下記の条件を満たすすべての環境で動作を
- 1121		保証するものではありません。

### PC 本体

下記の条件を満たす PC/AT 互換機

- CPU: Intel Pentium 4, Xeon, Core Duo 以上の CPU
- ※ EDIUS を使用する場合には、SSE2 命令をサポートした CPU が必要です。
- ※ EDIUS はマルチプロセッサ、ハイパー・スレッディン グ・テクノロジに対応しています。

### PCIバス

PCI Express x1 (PCI Express Spec. Revision 1.0a)  $\times$  1

### ハードディスクドライブ

ソフトウェアのインストールに 6GB 以上の空き容量が必要
 映像用に ATA100/7200 回転以上のドライブが必要
 ※ HD 解像度編集を行う場合は RAID 0 を推奨

※ハードディスクドライブの空き容量は、編集するファ イル容量の2倍程度必要 Section 1 - はじめに

グラフィック

Direct3D 9.0c 以降 PixelShader3.0 以上 1024x768pixel 32bit 以上の表示が可能であるもの

メモリとビデオメモリ

メモリとビデオメモリの動作条件は表のとおりです。

フレームサ	イズ	SD サイズ	HD サイズ
量子化ビット数		8bit	8bit
32bit OS		0	0
64bit OS		0	0
V.E.I.I	最低	1GB	2GB
~ ビリ	推奨	2GB	4GB
ビデナマエロ	最低	256MB	512MB
	推奨	512MB	1GB

 POINT
 EDIUS 6 のソフトウェアの仕様では、10bit フォーマットの入出力や HD より大きいサ イズの映像の出力に対応しています。

サウンドシステム

WDM ドライバーに対応したもの

光学ドライブ

インストールに DVD-ROM が必要

※ BD や DVD 作成には、対応したドライブが必要です。

#### 対応 OS

Windows 7 (32bit/64bit) Windows Vista SP2 以上 (32bit/64bit) Windows XP SP3 以上 (32bit) Internet Explorer 8 以上 ※ ただし、Virtual PC、VMWare、Windows 7の Windows

XP mode など仮想 OS 内での動作は保障しません。

USB ポート

1つ使用(USB1.1以上。USB キーで使用)

その他

- インターネット接続環境、メールアドレス
- ※ アクティベーション、ユーザー登録、サポート、ソフ トウェアのアップデートに必要。

### 制限事項

本製品をご使用いただくにあたり、以下の制限事項があり ますのであらかじめご確認ください。また、各アプリケー ションの「Readme.htm」にはマニュアルに記載されてい ない事項などが記述されている場合がありますので必ずお 読みください。

### ● スタンバイモードについて

本製品は、スクリーンセーバーおよびモニタ電源のスタン バイモードを無効(なし)に設定してご使用ください。

● 著作権保護信号について

本製品は、コピー禁止の著作権保護信号が付加された映像 をキャプチャできません。

Section 2

# ハードウェアセッティング

このセクションでは、HDSTORMの各部名称や、HDSTORM の取り付けから EDIUS のインストールまでの流れについて説 明しています。

## 各部の名称

### HDSTORM メインボードリアパネル



[1] オーディオ端子 編集時の音声が出力されます。

- [2] HDMI 入力端子
- [3] HDMI 出力端子

#### ● 基板 LED について

ボードが正常に機能しない場合は、基板の LED を確認し てください。



### [1] コンフィグ状態表示

正常時は点灯しています。

点滅している場合は、通常読み込まれるメモリ領域に不具 合があるため、バックアップ領域からの読み込みを行って います。ドライバーを再インストールしてください。 消灯している場合はデータの読み込みができません。当社 サポートまでご連絡ください。

#### [2] ボード -PC リンク状態表示

正常時は消灯しています。

点灯している場合は、他の PCI Express スロットにメイ ンボードを差し替えてください。

点滅している場合は、ドライバーとの整合/不整合表示を 参照してください。

### [3] ドライバーとの整合/不整合表示

インストール後にメインボードの差し位置を変更したり、 他の PC に装着していた HDSTORM ボードを装着したり した場合に点滅します。ドライバーを再インストールし てください。EDIUS とドライバーをアンインストール後、 再インストールします。

#### [4] HDSTORM BAY 接続表示

HDSTORM BAY と接続しているときは点灯し、接続していないときは消灯しています。

Section 2 - ハードウェアセッティング

### HDSTORM BAY (HQX-B10) (オプション) フロントパネル

※製品パッケージによっては標準装備となります。



[1] HDMI 入力端子

[2] HDMI 出力端子

### [3] VIDEO 入力端子

コンポーネントビデオ入力端子です。 コンポジットビデオケーブルを緑色の端子に直接接続できます。 S-VIDEO端子に接続する場合は、付属のアナログビデオ 端子変換ケーブルを使用して、BAY 側に赤色と青色の端 子を接続します。

### [4] VIDEO 出力端子

コンポーネントビデオ出力端子です。

コンポジットビデオケーブルを緑色の端子に直接接続できます。 S-VIDEO 端子に接続する場合は、付属のアナログビデオ 端子変換ケーブルを使用して、BAY 側に赤色と青色の端 子を接続します。

VIDEO 出力端子から S-VIDEO 出力する場合は、「プレ ビューデバイスを設定する」の手順7の「アナログ出力設 定」を参照して設定してください。

アナログ出力設定▶ P44

[5] AUDIO 入力端子

[6] AUDIO 出力端子

## ハードウェアの取り付け

### メインボードの取り付け

取り付けを行う前に、作業を行うことができるほこりの無 い乾いたスペースを準備してください。また、プラスドラ イバーと取り外したねじを入れておく空き箱を用意してく ださい。

PC の電源、ケーブル類(電源含む)が PC から抜かれて いることを必ず確認してください。

※ 付属品やオプションの有無はモデルによって異なります。

### メインボードを PCI Express スロットにしっかり と差し込む



 POINT
 PCI Express スロットの種類については、 ご使用の PC (マザーボード)の取扱説明 書をご確認ください。
 PCI Express x1 スロット (PCI Express x1) にメインボード (HDSTORM)を装着 してください。
 ※ PCI Express x1 スロットが使用できな い場合は、PCI Express x4 スロットま たは PCI Express x8 スロットに取り付 けることもできます。

Section 2 - ハードウェアセッティング

・ 当社製のボードは通常、簡単にスロットに装着できます。何かに引っかかりうまく差し込むことができない場合は、無理に押し込まないようにしてください。このような場合は、ボードを一度取り外し、引っかかりの原因を確認してください。また、異なるスロットへの装着を試してください。どうしても何かに引っかかり装着することができない場合は、物理的な問題でボードを使用することができません。当社製のボードは PCI Express および PCI の規格によって設計されていますので、PC に何らかの問題がある可能性があります。このような場合は、PC メーカーまたはマザーボードメーカーへご相談ください。

### オーディオ出力について

オーディオケーブル(4pin-4pin)の仕様は次のとおりです。

赤 : 右チャンネル(R) 白 : 左チャンネル(L) 黒 : グラウンド(G)



オーディオケーブル(4pin-4pin)

オーディオ出力を行うには、出力先のサウンドデバイスと メインボードを、同梱のオーディオケーブル(4pin-4pin) で接続します。

POINT ・同梱のオーディオケーブル(4pin-4pin)は、 形状、配線仕様が異なる3つのコネクタに 分岐しています。分岐していない側はメイ ンボードに、分岐している側は出力先のサ ウンドデバイスに接続します。接続先のコ ネクタ形状、および配線仕様に適合するコ ネクタをご使用ください。同梱のオーディ オケーブル(4pin-4pin)が使用できない場 合は、別途オーディオケーブルをご用意く ださい。

 アOINT
 オーディオケーブル (4pin-4pin) での接続 (内 部接続) 以外に、ステレオミニケーブルで出 力先のサウンドデバイスに接続 (外部接続) することもできます。ただし、内部接続と外 部接続を同時に行うことはできません。

### ● オンボードのサウンドデバイスから出力する場合

オーディオケーブルをマザーボードの端子と接続します。

ご注意 ・オンボードサウンドデバイス(マザーボードに実装されているサウンドデバイスです。 詳しくはご使用のPC、もしくはマザーボードの取扱説明書を参照してください)のコネクタ位置によっては、スロットに装着したボードと干渉する場合がありますのでご注意ください。



サウンドボードから出力する場合 オーディオケーブルをサウンドボードの端子と接続します。



Section 2 - ハードウェアセッティング

## HDSTORM BAY (HQX-B10)(オプション) の取り付け

※ 製品パッケージによっては標準装備となります。 取り付けを行う前に、作業を行うことができるほこりの無 い乾いたスペースを準備してください。また、プラスドラ イバー、マイナスドライバーと取り外したねじを入れてお く空き箱を用意してください。 PC の電源、ケーブル類(電源含む)が PC から抜かれて

いることを必ず確認してください。

**POINT** ・ HDSTORM BAY を装着するには、PC に 5 inch Bay の空きと4ピンの内部電源ケー ブルが必要です。

1 同梱の内部接続ケーブルを HDSTORM BAY に接続 する



2 HDSTORM BAY を PC に取り付ける



3 メインボードに内部接続ケーブルを接続する



内部接続ケーブル

### 4 HDSTORM BAY をネジで固定する



5 内部電源ケーブルを電源端子に接続する



Section 2 - ハードウェアセッティング

## EDIUS をインストールする

HDSTORMの取り付けが完了したら、EDIUSをインストールします。インストールの手順について詳しくは、 EDIUS インストールガイドを参照してください。

# EDIUS インストール後の確認

### リソースの確認 (Windows 7/Windows Vista の場合)

ドライバー、アプリケーションソフトのインストールを完 了し、再起動後にドライバーが正常にインストールされた かを確認してください。

### 1 〈スタート〉メニューをクリックし、〈コントロールパ ネル〉→〈ハードウェアとサウンド〉をクリックする

または〈スタート〉 メニューの〈コンピューター〉 (Windows Vista では〈コンピュータ〉)を右クリックし、〈プロパティ〉 をクリックします。

### 2 〈デバイス マネージャー〉(Windows Vista では 〈デ バイス マネージャ〉)をクリックする

3 〈サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー〉 (Windows Vista では〈サウンド、ビデオ、およびゲー ムコントローラ〉)をダブルクリックする



### 4 デバイス名を確認する

#### • [HDSTORM]

デバイス名の頭に「!」や「×」のマークが表示されてい る場合、ドライバーが正常にインストールされていません。 再インストール、リソース競合の確認やボード差込位置の 変更などをお試しください。

### 5 〈デバイス マネージャー〉(Windows Vista では〈デ バイス マネージャ〉)を閉じる

メインボードのドライバーの確認は以上です。

#### リソースが競合している場合

お使いの製品と他のデバイス類のリソースが競合もしくは 共有している場合、正常動作しないことがあります。以下 の方法をお試しください。

- 割り込みを共有する他の機器を取り外すか、他の機器の IRQの変更を行ってください。
- PC本体(マザーボード)のBIOSでリソースの設定を 変更してください。BIOSの設定方法は各メーカーによっ て異なりますので、PC本体、マザーボードなどに付属 の取扱説明書をご参照ください。

Section 2 - ハードウェアセッティング

 IRQの設定方法はPC、マザーボードなど 各メーカーにより異なります。BIOSでPCI Expressや PCIスロットごとに任意のIRQ を割り当てるタイプや、特定のIRQをあら かじめ予約するタイプなどがあります。

### リソースの確認 (Windows XP の場合)

ドライバー、アプリケーションソフトのインストールを完 了し、再起動後にドライバーが正常にインストールされた かを確認してください。

### 【 〈スタート〉メニューをクリックし、〈コントロールパ ネル〉→〈システム〉をダブルクリックする

または〈スタート〉メニューの〈マイコンピュータ〉を右 クリックし、〈プロパティ〉をクリックします。

### 2 (ハードウェア) タブをクリックし、[デバイス マネー ジャ] をクリックする



### 3 〈サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ〉を ダブルクリックする



### 4 デバイス名を確認する

#### • [HDSTORM]

デバイス名の頭に「!」や「×」のマークが表示されてい る場合、ドライバーが正常にインストールされていません。 再インストール、リソース競合の確認やボード差込位置の 変更などをお試しください。

### 5 [デバイス マネージャ]を閉じる

メインボードのドライバーの確認は以上です。

#### リソースが競合している場合

お使いの製品と他のデバイス類のリソースが競合もしくは 共有している場合、正常動作しないことがあります。以下 の方法をお試しください。

- 割り込みを共有する他の機器を取り外すか、他の機器の IRQの変更を行ってください。
- PC本体(マザーボード)のBIOSでリソースの設定を 変更してください。BIOSの設定方法は各メーカーによっ て異なりますので、PC本体、マザーボードなどに付属 の取扱説明書をご参照ください。

Section 2 - ハードウェアセッティング

 IRQ の設定方法は PC、マザーボードなど 各メーカーにより異なります。BIOS で PCI Express や PCI スロットごとに任意の IRQ を割り当てるタイプや、特定の IRQ をあら かじめ予約するタイプなどがあります。

# EDID Monitor について

当社製品を PC に装着した状態で EDIUS をインストール すると、ドライバーと同時に付属アプリケーションソフト ウェア EDID Monitor がインストールされます。 EDID Monitor は、当社製品 HDSTORM と HDMI ケーブ ルで接続されたモニター機器の映像表示能力や受信可能な オーディオチャンネル数などを事前に確認するためのソフ トウェアです。

Section 3

# EDIUS の起動とプロジェクト作成

EDIUS で編集作業を行うときの一番大きな作業単位とな るのがプロジェクトファイルです。プロジェクトファイル には、編集の経過や、映像のフォーマットなどが記録され ます。

このセクションでは、EDIUSを初めて起動したときの操作とプロジェクトの作成方法について説明しています。

- **POINT** ・ EDIUS をご使用いただくには、同梱の USB キーを PC の USB ポートに装着する 必要があります。
  - 次回以降、起動時の操作やプロジェクトの 作成手順は、初回起動時と一部異なります。
     詳しくは、EDIUS リファレンスマニュア ルを参照してください。

## EDIUS を起動する

EDIUS を起動し、プロジェクトファイルの保存場所を指 定します。

### **1** デスクトップのアイコンをダブルクリックする



EDIUS をインストール後、初めて起動したときは、〈フォ ルダーの設定〉ダイアログが表示されます。

Section 3 - EDIUS の起動とプロジェクト作成

### 2 [参照] をクリックし、プロジェクトファイルを保存 するフォルダーを指定する

OS などのシステムがインストールされているドライブ以 外に保存先を指定することをおすすめします。

フォルダー	の設定	×
i	フロジェクトフォルダーの保存先を選択してください。Wini がインストールされているディスクル外を選択すると、パフ 上します。	dowsのシステム ゆーマンスが向
フォルダー	-	
		参照( <u>B</u> )
このダイン	Pログは初回起動時のみ表示します。	ок

### **3** [OK] をクリックする

次回からプロジェクトを作成すると、指定したフォルダー に保存されます。

〈スタートアップ〉ダイアログが表示されます。

## プロジェクトを作成する

作成するプロジェクトのフォーマットを設定し、プロジェ クトプリセットとして登録しておきます。

【 〈スタートアップ〉ダイアログで、【プロジェクトの新 規作成】をクリックする



初めて起動したときは、「プロジェクトプリセット作成」 ウィザードが起動します。

### 2 〈サイズ〉、〈フレームレート〉、〈ビデオ量子化〉の順番に、 各項目1つ以上チェックを入れ、「次へ」をクリックする

EDIUS で作成したいプロジェクトのフォーマットに合わ せて、ビデオサイズとフレームレート、ビデオ量子化を設 定します。1 項目に複数チェックを入れることもできます。

プロジェクトプリセット作	成	×
使用するビデオサイン	くとフレームレートを選	訳して下さい
₩4% 2 HD 2 SD 0 DV	212-222-5 59:344 501 504 500 0:29:370 0:29:370 0:250 0:23:380	ビデオ量子化 2 %bit 106:t
<b>-</b> - <b>-</b>	B ( KAN)	

 POINT
 EDIUS 6 のソフトウェアの仕様では、〈ビ デオ量子化〉を 10bit に設定すると、10bit 精度を保持して編集することができますが、 HDSTORM では、10bit でのモニター出力 に対応していません。

### 3 内容を確認する

手順2で設定した内容に該当するフォーマットが一覧で表示されます。

チェックが入っているフォーマットのプロジェクトプリ セットが作成されるので、必要に応じて、使用しないフォー マットのチェックをはずします。



HDSTORM - セットアップガイド

### Section 3 - EDIUS の起動とプロジェクト作成

### 4 [完了] をクリックする

〈プロジェクト設定〉(簡易設定)ダイアログが表示され、〈使用可能なプリセット〉に、作成したプロジェクトプリセットがアイコンで表示されます。 続いて、新しいプロジェクトを作成します。

# 5 〈プロジェクトファイル〉の〈プロジェクト名〉にプロジェクト名を入力する



### 6 プロジェクトプリセットを選び、[OK] をクリック する

選んだプロジェクトプリセットで、新しいプロジェクト ファイルが開きます。

プロジェクト設定		×
ープロジェクトファイル― プロジェクト名(M) フォルダー(F)	akum1 F¥EDULS¥abum1 2 プロジェクトをのフォルダー作業成(2)	
作田可能なつけやット 日の日の1520年10月15日の 日の1520年10月15日の 153 85ht SD 720x480 59.94i 4 85ht	1000 HD0 SD 1000 S934i HD 128b.1000 5934i SD 72b.406 5934i 43 169 8bn 5934i HD 128b.1000 5934i SD 72b.406 5934i 43	1999 ビフォ注意 マナームレイス(1920 × 1988 マナームレト・2937 アメーク以上・2937 アメーク以上・2937 マナームレート2937 マナームション・2937 マナームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マームション・2010 マ
□ 力セットを変更して	- (使用する(C)	ок <i><b>*</b>*&gt;±и</i>

# Section 4

# 編集環境の設定

このセクションでは、キャプチャやテープ出力に使用する 機器の接続情報を登録したり、編集中に使用する機器につ いて設定したりする手順について説明しています。 これらの編集環境は、編集作業を始める前に設定しておい てください。

## デバイスプリセットを登録する

キャプチャやテープ出力時に使用する外部機器(カメラや デッキ、Webカメラ、マイクなど)や当社製品について、 接続情報をデバイスプリセットとして登録し、管理します。 キャプチャやテープ出力の際に、登録しておいたデバイス プリセットを呼び出すことで、入出力の操作をスムーズに 行うことができます。

ここでは、HDSTORM や HDSTORM BAY を入力に使用 する場合を例に、デバイスプリセットを登録する方法につ いて説明します。

### 入力に使用する機器を HDSTORM や HDSTORM BAY に接続する

必要に応じて、テープ出力に使用する機器を PC に接続し てください。

POINT ・ファイルベースで映像や音声が記録されて いる外部機器類 (CD/DVD や AVCHD カ メラ、SD メモリーカードなどのリムーバ ブルメディア)は、デバイスプリセットと して登録する必要はありません。

 メニューバーの (設定) をクリックし、(システム設定) をクリックする



3 〈ハードウェア〉のツリーをクリックし、〈デバイスプ リセット〉をクリックする



4 [新規作成] をクリックする



「プリセットウィザード」が起動します。

### 5 デバイスプリセットの名前を入力する

プリセットウィザード			×
名称/アイコン設定			
A 			
	< 戻る(B)	)次へ(N) >	キャンセルム

# 6 [アイコン選択] をクリックし、アイコンの画像を選んで [OK] をクリックする

お好みの画像を使用する場合は、[…]をクリックし、ファ イルを選びます。

### 7 [次へ] をクリックする



入力時の接続情報やフォーマットを設定する画面が表示さ れます。

### 8 〈インターフェイス〉のリストをクリックし、 〈HDSTORM〉を選ぶ

〈インターフェイス〉のリストに、装着している製品名が表示されます。入力に使用するインターフェイスを選びます。

プリセットウィザード					×
λカハードウェア/	7ォーマット設定		_		
インターフェイス	HDSTORM		_)		
2147-6	HDMI in (PCIe board)			詳細設定(5)。	
ビデオフォーマット	1920×1080 59.94i		-		
コーデック	Cenopus HD (HW)		¥	詳細論定(E)_	
77イル形式	AVI		¥		
オーディオフォーマット	48000Hz/8ch/24bit		¥		
オーディオ入力	SDI/HDMI/1394 embedded		Ţ		
	□ 16Bit/2ch(c変換(C)				
			Mag (BI) N	Analysian (A)	
		( WORK )		AND UKB	

 POINT
 HDV 機器をPCに装備されている IEEE1394 端子に接続して入力する場合は 〈Generic HDV〉、DV 機器をPCに装備されている IEEE1394 端子に接続して入力する場合は〈Generic OHCI〉、DirectShow ベースのビデオキャプチャデバイス、オー ディオキャプチャデバイスから入力する場合は〈DirectShow Capture〉を選びます。 入力用のインターフェイスを使用しない場合は、〈なし〉を選びます。

### 9 〈ストリーム〉のリストをクリックし、ビデオ入力に 使用する端子を選ぶ

HDSTORM BAY が装着されていない場合は、〈HDMI in〉 の設定で固定となります。

HDSTORM BAY が装着されている場合は、〈HDMI in (PCIe board)〉、〈HDMI in (Bay)〉、〈Composite in〉、〈S-Video in〉、〈Component in〉のいずれかを選択できます。

HDSTORM メインボードの HDMI 端子から入力する場合 は、〈HDMI in (PCIe board)〉を選び、HDSTORM BAY の HDMI 端子から入力する場合は、〈HDMI in (Bay)〉を 選んでください。

### 10 [詳細設定] をクリックする

プリセットウィザード	×
入力ハードウェア/	は~マット設定
インターフェイス	
አሥ-ሪ	HDMI in (PCIe board)
ビデオフォーマット	[1920x1080 59.94i
コーデック	Canopus HO (HW)
ファイル形式	AVI 🗸
オーディオフォーマット	(48000Hz/8ch/24bia
オーディオ入力	SDI/HDMI/1394 embedded
	□ 16Bit/2ch(;実換(©)
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル(A)

HDSTORMの入力設定画面が表示されます。 EDIUSがキャプチャに使用する入力機器を認識している 場合、画面上部に入力機器からの映像が表示されます。



HDSTORM 以外のインターフェイスを使用して入力する 場合の設定について詳しくは、EDIUS リファレンスマニュ アルを参照してください。

Section 4 - 編集環境の設定

11 〈詳細設定〉のツリーをクリックし、設定する項目を クリックする

### 12 各項目を設定する

HDSTORM の入力設定を行います。 [適用] をクリックすると、続けて他の項目を設定するこ とができます。

### ◆ システム設定

キャプチャ時に使用するモニター出力機器についての設定 です。

like of Acts	
<ul> <li>         i============================</li></ul>	システム設定
アナログ (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	アナログオーディオモニダ(A)* チャンネル1/2 -
	HDMI入力設定
	↓ YUV422に変換するときのFIRフィルタを無効にする(E)
	(汚進の状態に戻せの)を
	1++
	OK キャンセル 通用(A)

### アナログオーディオモニタ

キャプチャ時にアナログオーディオでモニター するオーディオチャンネルを選びます。

### HDMI 入力設定

YUV422 に変換するときの FIR フィルタを無効にする

チェックを入れると、デジタルテレビ用の色表 現である YUV422 に変換するときに、FIR フィ ルタを無効にします。



### ◆ アナログ出力設定

キャプチャ時に使用するモニター出力機器についての設定 です。HDSTORM BAY を装着している場合に設定でき る項目です。

□ 詳細設定	アナログ出力設定	
- システム設定 - アナログ出力設定	出力信号(S)*	コンボーネント
アナロク人力設定		ØIRE 🗸
	コンボーネントレベル(©)*	SMPTE
		標準の状態(「戻す(D)*
		K キャンセル 通用(A)

出力信号

〈コンポーネント〉または〈コンポジット /S ビ デオ〉からモニターに出力する信号を選びます。

### セットアップレベル

〈出力信号〉で〈コンポジット/Sビデオ〉を選 んだ場合、もしくは〈コンポーネントレベル〉 で〈BETACAM〉を選んだ場合に設定可能と なります。NTSC 時のセットアップレベル(黒 レベル)を〈OIRE〉、〈7.5IRE〉から設定します。 日本では OIRE、北米では 7.5IRE が使用されます。

### コンポーネントレベル

〈出力信号〉で〈コンポーネント〉を選んだ場合 に設定可能となります。コンポーネントレベル を〈SMPTE〉、〈BETACAM〉から選びます。

標準の状態に戻す

初期設定に戻します。

### ◆ アナログ入力設定

キャプチャ時に使用する入力信号調整についての設定で す。HDSTORM BAY 装着時、手順9で〈Composite in〉、 〈S-Video in〉、〈Component in〉を選んでいる場合のみ設 定できます。

□ 詳細設定	アナログ入力設定	
システム設定 アナログ出力設定		
アナログ入力設定	6月65( <u>日</u> )*	
	=>トラスト(©)*	<u>128</u>
	色相(出)*	<u>128</u>
	彩度( <u>S</u> )*	128
		128
		21200-000-000-000-000-000-000-000-000-00
		144000 A 19850
	ゼットアップレヘルビメ	
	コンボーネントレベル(の)*	使用できません
	ゲインコントロール( <u>G</u> )*	J−ト •
		標準の状態(J戻す(D)*
	_	OK 参照され」 (市田(A)

### 明るさ

映像の明るさを調整します。値が小さいほど暗 くなり、大きいほど明るくなります。

コントラスト

画像のコントラストを調整します。値が小さい ほどコントラストは弱くなり、大きいほど強く なります。

色相	
	映像の色合いを調整します。値が小さいほど赤
	色が強くなり、値が大きいほど緑色が強くなり
	ます。
	※コンポーネント入力時は設定できません。
彩度	
	色の濃さを調整します。値が小さいほど色が薄
	くなり、大きいほど濃くなります。最小値の0
	に設定すると、完全なグレースケールになります。
シャ	ープネス
	映像の輪郭の先鋭さを調整します。値が小さい
	ほど映像の輪郭がぼやけ、大きいほど輪郭が強
	調されます。
	詳細画質調整
	〈詳細画質調整〉ダイアログを表示します。
	〈詳細画質調整〉ダイアログ→〈3次元 /2次元
	映像処理〉タフ▶P36 /詳細画質調敷〉ダイマログ→ /白 / 用ゲイン/
	(計和回頁調金/ ダイアロク→ (ロ/ 羔グイン) タブ▶ P37
	〈詳細画質調整〉ダイアログ→〈輪郭強調〉タブ
	▶ P38
セッ	トアップレベル
	NTSC 時のセットアップレベル(黒レベル)を
	設定します。
コン	ポーネントレベル
	NTSC 時のコンポーネントレベルを選びます。
ゲイ	ンコントロール
	映像輝度を設定します。〈マニュアル〉は輝度を
	手動で設定します。〈オート〉の場合は、自動で
	輝度を最適に調整します。
標準	の状態に戻す
	初期設定に戻します。

●〈詳細画質調整〉ダイアログ→〈3次元/2次元映像処理〉 タブ

詳細画質調整	×
3次元/2次元映像処理 白/黒ゲイン 輪郭強調	
- 8次元処理	
ノイズ除去* なし 🗸	
□ Y/C分離*	
2) 欠元処理	
輝度成分ノイズ除去* なし	
色成分ノイズ除去* なし 👻	
標準の状態に戻す(D)*	

#### 3次元処理

3次元ノイズリダクション、および3次元ビデ オプロセッシング(コンポジット入力の場合の み)の効果を設定します。

### 2次元処理

非線形ノイズ抽出フィルタによりノイズを除去 します。3次元処理とは別に設定することが可 能です。

#### 輝度成分ノイズ除去

輝度成分(Y)のノイズリダクションの効果を 設定します。

#### 色成分ノイズ除去

色成分(C)のノイズリダクションの効果を設 定します。

標準の状態に戻す

初期設定に戻します。

●〈詳細画質調整〉ダイアログ→〈白/黒ゲイン〉タブ

詳細画質調整	×
3次元/2次元映像処理	白/黒ゲイン 輪郭強調
黒ゲイン自動調整*	au 🗸
白ゲイン自動調整*	なし
	لائدا 🗸
	標準の状態に戻す( <u>D</u> )*
_	
	OK(Q) キャンセル(C) 適用(A)

黒ゲイン自動調整

輝度信号に対し、低輝度部分のゲインを強めま す。設定を強くするほど、黒が強調されます。〈な し〉に設定した場合、〈適応レベル〉、〈しきい値〉 の項目は無効になります。

適応レベル

黒伸張補正量を設定します。補正量が強いほど 黒が強調されます。

しきい値

どのレベルの輝度(明るさ)まで黒く強調する かを設定します。カーソルを右に移動するほど 明るいレベルに設定されます。

白ゲイン自動調整

輝度信号に対し、高輝度部分のゲインを弱めま す。輝度が高く、白くつぶれてしまっているよ うな部分の階調再現性を向上させます。〈なし〉 に設定した場合、〈適応レベル〉、〈しきい値〉の 項目は無効になります。

適応レベル

白ゲイン制限補正量を設定します。制限量が強いほど白ゲインが低く補正されます。

しきい値

どのレベルの輝度(明るさ)まで白ゲインを低 く補正するかを設定します。カーソルを左に移 動するほど暗いレベルに設定されます。

標準の状態に戻す

初期設定に戻します。

●〈詳細画質調整〉ダイアログ→〈輪郭強調〉タブ

Ì	細画質調整					×
	3次元/2次元映像処理	白/黒ゲイン	輸露調			
	輪郭強調(水平)*	なし	-			
	輪郭強調(垂直)*	なし	-			
						Γ
			13884		百+(D)+	
			1,244	:001A.1291.c	<u>₩9(</u> <u></u> )*	
	_	08(0)	*********	•       •	·商田(A)	

輪郭強調(オ	〈平)
--------	-----

水平方向(横線のエッジ)の輪郭補正を設定し ます。

輪郭強調(垂直)

垂直方向(縦線のエッジ)の輪郭補正を設定し ます。

標準の状態に戻す

初期設定に戻します。

### 13 [OK] をクリックする

### 14 〈ビデオフォーマット〉のリストをクリックし、キャ プチャする素材のビデオフォーマットを選ぶ

プリセットウィザード				
<b>λ</b> カ∧−ドウェア/	フォーマット設定			
インターフェイス	HDSTORM		-	
2141-6	HDMI in (PCIe board)			ifficie(s).
ピデオフォーマット	1920×1080 59,94i			
コーデック	Cenopus HQ (HW)			計細設定(E).
77-1ル形式	AVI		v	
オーディオフォーマット	48000Hz/8ch/24bit		v	
オーディオ入力	SDI/HDMI/1394 embedded		Ŧ	
	□ 16Bit/2ch(c変換(©)			
		(頁3( <u>B</u> )	法へ( <u>N</u> )>	キャンセル(A)

### 15 必要に応じて、その他の項目を設定し、[次へ]をクリッ クする

出力時の接続情報やフォーマットを設定する画面が表示さ れます。

### 16 〈インターフェイス〉のリストをクリックし、出力に 使用するインターフェイスを選ぶ

ブリセットウィザード X			
出力ハードウェア/:	78~791鼓定		
インターフェイス	Generic OHCI		
2147-6	Output		
ビデオフォーマット	[DVCPR0 HD] 1280x1080 59.94i 🗸		
オーディオフォーマット	#8000Hz/Rch/165it		
オーディオ出力	経沢できません		
	< 戻る(B) ※へ(N) > キャンセル(A)		

PC に装備されている IEEE1394 端子を利用して DV 機器などにテープ出力する場合は、〈Generic OHCI〉を選びます。出力用のインターフェイスを使用しない場合やHDV 機器へ出力する場合、デッキ制御できない機器へテープ出力する場合は、〈なし〉を選びます。

出力設定について詳しくは、EDIUS リファレンスマニュ アルを参照してください。

- 17 必要に応じて、〈ビデオフォーマット〉などの項目を 設定し、[次へ]をクリックする
- 18 内容を確認し、[完了] をクリックする



デバイスプリセット一覧に作成したプリセットのアイコン が表示されます。



### **19** [OK] をクリックする

デバイスプリセットを使用して、キャプチャや出力を行う 手順について詳しくは、EDIUS リファレンスマニュアル を参照してください。

## プレビューデバイスを設定する

PC に接続した外部モニターの表示を確認しながら編集を 行う場合など、編集中に使用するモニターや当社製品など の機器をプレビューデバイスとして管理し、詳細を設定で きます。

ここでは、HDSTORM や HDSTORM BAY をプレビュー デバイスとして使用し、詳細を設定する方法について説明 します。

### 編集に使用する機器を HDSTORM や HDSTORM BAY に接続する

メニューバーの〈設定〉をクリックし、〈システム設定〉
 をクリックする



3 〈ハードウェア〉のツリーをクリックし、〈プレビュー デバイス〉をクリックする



### **4** 〈HDSTORM - Output〉をクリックする

使用するプレビューデバイスを選びます。

システム設定			×
9.75 48 7 © 7790 (~ 500 758 (727 00) <u>518 (727 00)</u> 2 (737 0-10) © 7293 © 7293	<b>ブレビューデバイス</b> 優先 (8用デバイス 		
	□ ブルダウンフォーマットを優先する	<b>ок</b> २०७७।	速用( <u>A</u> )

デバイス名の横にチェックが付きます。

POINT ・〈プルダウンフォーマットを優先する〉に チェックを入れると、より一般的なフォー マット(59.94i / 50i / 59.94p / 50p)にプ ルダウン可能な場合、プルダウンを優先して 出力します。23.98p / 29.97p / 25p 表示に 対応していないモニターをお使いの場合にお 試しください。

### 5 [詳細設定]をクリックする



### プレビューデバイスを設定する

プレビューデバイスの詳細設定画面が表示されます。 画面上部にカラーバーが表示されます。プレビューデバイ スのモニターにも同様にカラーバーが表示されます。



ご注意 ・プレビューデバイスが、現在のプロジェクト設定のビデオフォーマットと互換性がない場合、警告メッセージが表示されます。 プロジェクト設定をプレビューデバイスに合わせて設定し直してください。

### 6 〈詳細設定〉のツリーをクリックし、設定する項目を クリックする

### 7 各項目を設定する

プレビューデバイスの詳細設定を行います。 [適用]をクリックすると、続けて他の項目を設定するこ とができます。

43

Section 4 - 編集環境の設定

### ◆ システム設定

編集時に使用するモニター出力機器についての設定です。 設定項目は、「デバイスプリセットに登録する」の手順12 の〈システム設定〉と同じです。

システム設定▶ P32

### ◆ アナログ出力設定

編集時に使用するモニター出力機器についての設定です。 設定項目は、「デバイスプリセットに登録する」の手順12 の〈アナログ出力設定〉と同じです。 アナログ出力設定 ▶ P33

### 8 [OK] をクリックする

9 [OK] をクリックする

# ハードウェア仕様

# HDSTORM メインボード

PCI Express 規格	PCI Express x 1 (PCI Express Spec. Revision 1.1)		
ビデオ	入力	HDMI 端子×1	
	出力	HDMI 端子×1	
オーディオ	入力	HDMI (LPCM 8ch)	
	出力	HDMI(LPCM 8ch) ステレオミニジャック×1	
最大消費 電流	+12V : 250mA, +3.3V : 3A		
動作温度	$0^{\circ}\text{C} \sim 45^{\circ}\text{C}$		
動作湿度	40~80% (結露のないこと)		

Section 5 - ハードウェア仕様

# HDSTORM BAY (HQX-B10) (オプション)

※製品パッケージによっては標準装備となります。

デジタル	入力	HDMI 端子×1
ビデオ	出力	HDMI 端子×1
デジタル	入力	HDMI (LPCM 8ch)
オーディオ	出力	HDMI (LPCM 8ch)
アナログ ビデオ	入力	コンポーネント×1
		※ コンポジットビデオケーブル
		を直接接続可能です。
		※ S-VIDEO 端子は、アナログビ
		デオ端子変換ケーブルを使用
		して接続します。
	出力	コンポーネント×1
		※ コンポジットビデオケーブル
		を直接接続可能です。
		※ S-VIDEO 端子は、アナログビ
		デオ端子変換ケーブルを使用
		して接続します。
アナログ オーディオ	入力	RCA ピンジャック×2
		(ステレオ 1 系統)
	出力	RCA ピンジャック×2
		(ステレオ 1 系統)
電源	DC 5V	
	(PC 内部から 4pin 電力端子に供給)	
	DC 12V	
最大消費 雷流	+12V : 370mA, +5V : 1.1A	
	$142(W) \times 165(D) \times 49(H)$	
リイス	$143mm(W) \times 165mm(D) \times 42mm(H)$	